PRESS RELEASE

国立大学法人 徳島大学

令和 8 年 9 月 25 日

徳島大学と日本都市学会が公開シンポジウム「水都とくしまの未来を考える－水辺空間と都市再生－」を開催（2026 年 10 月 24 日）

＜報道概要＞

徳島大学人と地域共創センターでは、毎年「地域交流シンポジウム」を開催しており、本年度は、日本都市学会第 73 回大会に合わせ、日本都市学会・中四国都市学会との共催により開催します。

今回のテーマは「水都とくしまの未来を考える－水辺空間と都市再生－」。大小多くの河川が流れる「水都とくしま」を舞台に、全国の都市研究者と、行政、市民団体など、水辺のまちづくりに携わる実務者が一堂に会し、水辺を活かしたまちづくり、中心市街地活性化、防災、観光、市民参加などについて議論します。

どなたでも無料で参加できます。また、当日参加できない方には、後日、収録動画を配信します。

【開催概要】

主　催　徳島大学人と地域共創センター、日本都市学会、中四国都市学会
後　援　徳島市、徳島県、国土交通省四国地方整備局
日　時　2026 年 10 月 24 日（土）13 時～16 時 30 分（受付は 12 時 30 分から）
会　場　徳島大学常三島キャンパス　地域連携プラザ 2 階　常三島けやきホール
（徳島市南常三島町 1-1）
一般公開・参加無料
テーマ　「水都とくしまの未来を考える－水辺空間と都市再生－」
詳細は添付のチラシをご覧ください。

【開催の背景・趣旨】

徳島大学人と地域共創センターでは、地域社会が抱える課題について大学と地域がともに考え、研究成果や専門的知見を地域に還元するとともに、産官学民の連携を促進することを目的として、毎年「地域交流シンポジウム」を開催しています。第 23 回となる今回は、日本都市学会第 73 回大会の徳島開催を機に、日本都市学会及び中四国都市学会との共催により、全国の研究者と、行政・実務者・市民団体など、地域の多様な主体が交流し、地域課題について多角的に考える場とします。

日本都市学会は、都市に関する諸問題を学際的に研究する全国的な学術団体で、個人会員は約 500 名であり、都市工学、都市計画、経済学、地理学、社会学、行政学など幅広い分野の研究者に加え、自治体職員や実務家などが参加しています。毎年開催される全国大会では、開催都市に関わるテーマを取り上げ、研究と地域の実践を結びつけた議論が行われています。今年度は、地方支部である中四国都市学会（会長は本

770-8501
徳島市新蔵町二丁目 24 番地
電話番号 088-656-7021
https://www.tokushima-u.ac.jp /

学の豊田哲也教授）が企画運営を担当し、本学において大会を開催することになりました。

【テーマ】

今回のテーマ「水都とくしまの未来を考える－水辺空間と都市再生－」は、都市研究や都市政策における旧くて新しいテーマです。人口減少や中心市街地の衰退が進む今日、水辺は公共空間の利活用、市民参加、地域コミュニティ、持続可能性などの観点から改めて注目されています。一方、水辺は洪水や高潮、津波などの災害リスクとも隣り合わせの空間です。

徳島市は、吉野川下流のデルタ地帯に形成され、大小多くの河川が市街地を流れる「水都」です。新町川を中心とした市民主体のまちづくりや、万代中央地区の倉庫群の利活用など、水辺を活かした取組も進められてきました。本シンポジウムでは、こうした徳島を舞台に、水辺空間を都市の魅力や活力にどのように結びつけていくのか、また行政・大学・市民・民間の連携をどのように進めていくのかを考え、水辺と共生する持続可能な都市のあり方を展望します。

【申込方法】

参加を希望される方は、添付チラシに掲載している二次元コードからお申し込みください。会場での参加に加え、当日来場できない方を対象に、後日、シンポジウムの収録動画を配信します。動画配信のみを希望される方も、同じ申込フォームからお申し込みいただけます。

申込締切：2026 年 10 月 19 日（月）

※会場参加は定員に達した場合、申込受付を終了することがあります。

お問い合わせ先
徳島大学人と地域共創センター
教授　豊田哲也
電話番号　088-656-7154
メールアドレス　toyoda.tetsuya[ｱｯﾄ]tokushima-u.ac.jp
※メールを送信される場合には、[ｱｯﾄ]を@に置き換えてください。